

共通専門基礎科目	協働的医療実践の基礎					
看護学科	必修	1単位	講義	平成30年度	前期	1年次
臨床検査学科	必修					
科目名	医療の歴史と現在 The History of Medicine					
担当教員	◎稲本俊 吉田修					
目的	現代の医療を理解するために、古代より現代にいたる歴史の流れを学び、何が現在の医療の問題点かを考える。常に「現代」という視座より考えるために、逆行性に講義する。					
目標	[歴史とは現代と過去との尽きることのない対話である]。最先端医療から未来の医療を最初に学び、ここに至る進歩発展の歴史を現在の医療との関連つけて理解する。					
他科目との関連	医療概論					
評価方法	項目	評価の内容				評価の比率
	レポート	課題レポート成績				
評価基準	総合の得点100～90点を秀、89～80点を優、79～70点を良、69～60点を可と評価し、合格とする。59点以下は不可と評価し、不合格とする。					
教科書	教科書は用いないが、参考書をあげておく。図書館に全てはないが、関連図書が多く備わっている。					
参考資料	<p>「医学の歴史」小川鼎三（中央公論社）、「医学を築いた人びと 上・下」ヌーランド著（河出書房新社）、「近代外科の父・パレ 日本の外科のルーツを探る」森岡恭彦編著（日本放送出版協会）、「まんが 医学の歴史」茨木 保著（医学書院）、「麻酔の歴史 150年の軌跡」ラシュマン他著（克誠堂出版）、「華岡青洲の妻」有吉佐和子著（新潮社）、「外科医の世紀 近代医学のあけぼの」トールヴァルド著（へるす出版）、「細菌とのたたかい」ポールドリー著（みずず書房）、「細菌学の歴史 生命科学を拓いた人びと」ヒューズ著（八坂書房）、「志賀 潔 或る細菌学者の回想」志賀 潔著（日本図書センター）、「微生物の狩人 上・下」クライフ著（岩波書店）、「人間パストゥール」ヴァレリーラド著（みずず書房）、「フレミングの生涯」モロワ著（新潮社）、「抗生物質を求めて」梅沢浜夫著（文藝春秋）、「フローレンス・ナイチンゲールの生涯」セシル・ウーダム・スミス著（現代社）、「動物の心臓ならびに血液の運動に関する解剖学的研究」ハーヴェイ著（岩波書店）、「X線の発見者 レントゲンの生涯」ニツスキー著（考古堂）、「歴史とは何か」E. H. カー著 清水幾太郎訳（岩波新書）</p> <p>ゴチックは読んでおけば講義の理解をたすける推薦図書</p>					
備考 (受講上注意、事前学習等)	いままで諸君が学習してきた「歴史」とこの講義における「歴史」の違いを認識してほしい。					